

プレスリリース

2022年10月5日

オットーボック・ジャパン株式会社

ドイツと日本の金・銀メダリストが指導 下肢切断者向けランニングクリニック取材のご案内

オットーボック主催のランニングクリニックは、日本では2015年から継続開催し、多くの皆様からの共感をいただいております。3年振りとなる今回、参加者、指導者ともに規模を拡大して開催いたします。

本クリニックでは、「スポーツ用義足で第一歩を踏み出す」、「パーソナルベストを更新したい」、「子供と一緒に再び走りたい」など、参加者それぞれの目標を達成いただくために、義足歩行の基礎から徹底的に指導いたします。世界で活躍するパラリンピアンと過ごす3日間は、義足と共に人生を歩む参加者にとって、特別な経験となることでしょう。

今回は、10代から60代までの17名の下肢切断者が全国から参加し、新たなストーリーと感動が生まれることと思われます。また、東京パラリンピック400m金メダリストとして、今最も注目されている両下腿義足のアスリート、ヨハネスフロアスが講師として参加します。

本クリニックが、東京2020パラリンピックのレガシーを継続し、下肢切断者の可能性や障がい者スポーツのすばらしさを広める機会となれば幸いです。

「ランニングクリニック 2022」開催概要

- 開催日： 2022年10月28日(金)～30日(日)
- 開催場所： 東京大学駒場キャンパス www.u-tokyo.ac.jp
〒153-0042 東京都目黒区駒場3丁目8-1
- 指導者：
ハインリッヒ ポポフ (オットーボックアンバサダー) T63 クラス
リオパラリンピック 走幅跳：金メダル
ロンドンパラリンピック 100m：金メダル
ヨハネス フロアス (オットーボックアンバサダー) T62 クラス
東京パラリンピック 400m：金メダル / 100m：銅メダル
山本 篤 選手 T63 クラス
リオパラリンピック 走幅跳：銀メダル
北京パラリンピック 走幅跳：銀メダル
東京パラリンピック 走幅跳：4位
兎澤 朋美 選手 (オットーボックアンバサダー) T63 クラス
ドバイ世界パラ陸上 走幅跳：銅メダル
東京パラリンピック 100m：8位 / 走幅跳：4位

- 主催： オットーボック・ジャパン株式会社
- 後援： 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 / 東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
日本財団パラスポーツサポートセンター
- 協力： 株式会社アシックス
- 特別協力： 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会
- スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業

ランニングクリニック 2022 Web サイト

<https://www.ottobock.com/ja-jp/ottobock/running-clinic/rc>

取材申込みについて

「下肢切断者向けランニングクリニック」スケジュール

■ 1日目(室内):10月28日(金) 13:00 -17:30

午後：オリエンテーション / スポーツ用義足の装着と調整から歩行まで
[12:50 KOMCEE EAST K213で受付]

■ 2日目(体育館およびグラウンド):10月29日(土) 10:00 -16:30

午前：走行練習、フィジカルトレーニング、スポーツ用義足に慣れるなど [9:50 第二体育館受付]
午後：ランニングの基礎トレーニング [13:50 第一グラウンド受付]
※ この日のクリニック終了後に指導者への囲み取材を受付けます。ご希望の方は申込フォームの備考欄に「10月29日囲み取材希望」とご記入ください。

■ 3日目(グラウンド、室内):10月30日(日) 10:00 -15:00

午前：本格的なランニングトレーニング [9:50 第一グラウンド受付]
午後：まとめ&修了式 [13:50 KOMCEE EAST K213受付]

***進捗状況、天候等により変更となる場合がございます。**

【お勧めの取材時間】

参加者が実際にトレーニング、ランニングに取り組む様子をご覧いただけるのは、2日目(10/29)午後、および3日目(10/30)午前となる見込みです。この時間の取材をお勧めします。

**取材をご希望の方は、会場準備の都合上、10/26(水)までに、
下記URL、または右のQRコードからお申込みください。**

<https://ws.formzu.net/fgen/S22392124/>



会場のご案内 東京大学駒場キャンパス 〒153-0042 東京都目黒区駒場3丁目8-1
京王線・井の頭線 駒場東大前駅から徒歩0分。大学構内に車両の駐車はできません。

オットーボックについて

- オットーボックは義肢、装具、車いすのリーディングサプライヤーとして、疾病や怪我などにより動きを制限された人々がモビリティを取り戻したり、維持したりできるよう、最新技術とリハビリテーションを組み合わせたモビリティソリューションを提供しています。1919年にドイツで創業し、現在、グローバルネットワークを通して全世界に、製品、技術、サービスを供給しています。オットーボックのスポーツラインナップには走行用板バネ、スポーツ用膝継手、ラグビーやバスケットボール用車いすなどがあり、障害のある人々が陸上競技や球技を楽しむことを可能にしています。
- 1988年ソウル大会以降30年以上の長きにわたり、パラリンピック競技大会にて修理サービスを提供し続けており、2005年からはパラリンピックのワールドワイドパートナーとして、パラリンピックムーブメントを支援しています。
- 2012年から、パラリンピックの金メダリスト、ハインリッヒポポフの指導のもと、世界各国で下肢切断者を対象としたランニングクリニックを開催しており、パラリンピックに出場する選手を多数輩出しています。

【お問合せ先】

本プレスリリースの情報、写真、取材については、以下にお問合せください。

オットーボック・ジャパン(株) 〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F

マーケティング部 吉田茜／樋詰絵梨子 TEL: 03-3798-2113

E-Mail: ottobock_com@ottobock.co.jp